FUJITSU Software

Infrastructure Manager Management Pack for

VMware vRealize Operations 1.0



セットアップガイド

CA92344-2511-01 2018年08月

目次

まえ	えがき	3
ス	本書の目的	3
ス	本書の構成	3
ス	本書の読者	3
ス	本書の表記について	3
司	高度な安全性が要求される用途への使用について	4
星	登録商標について	5
1.	製品概要	6
2.	パッケージ内容	6
3.	動作環境	6
4.	ISM Management Pack のインストール	7
4	4.1 インストールの準備	7
4	1.2 インストールファイルを実行する	8
4	1.3 ISM Management Pack に情報を登録する1	2
4	I.4 ISM Management Pack を利用する1	8
5.	ISM の利用方法2	3
6.	アンインストールの手順2	3
7.	留意事項2	4
8.	最新情報2	4

本書の目的

本書では、FUJITSU Software Infrastructure Manager Management Pack for VMware vRealize Operations 1.0 (以降 ISM Management Pack と表記) のインストール方法、製品の取り扱い方法、および、ご使用に際して特に注意すべき事項や参考となる情報を説明します。

本書の構成

- 1. 製品概要
- 2. <u>パッケージ内容</u>
- 3. <u>動作環境</u>
- 4. ISM Management Pack のインストール
- 5. ISM の利用方法
- 6. アンインストールの手順
- 7. <u>留意事項</u>
- 8. <u>最新情報</u>

本書の読者

このマニュアルは、ハードウェアとソフトウェアについて十分な知識を持っているシステ ム管理者、ネットワーク管理者、ファシリティ管理者およびサービス専門家を対象としま す。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、「Enter」や「F1」などのキーアイコンで表示されます。例えば、「Enter」はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、「Ctr1」+「B」は、Ctr1またはControlというラベルの付いたキーを押しながら「B」キーを押すことを意味します。

罫線

特に注意すべき事項の前には、以下の通り罫線が付加されます。

ポイント

ポイントとなる内容について説明します。

注意

注意する項目について説明します。

変数:<xxx>

お使いの環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。 例:<IPアドレス>

略称

本書では、以下のとおり略称で記載することがあります。

正式名称	略称
FUJITSU Software Infrastructure Manager	ISM
FUJITSU Software Infrastructure Manager Management	ISM Management Pack
Pack for VMware vRealize Operations 1.0	
VMware vRealize Operations Manager	vROps

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『Infrastructure Manager V2.3 用語集』を参照してください。

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開 発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行 制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、 兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該 安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハ イセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありませ ん。お客さまは本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用 途に使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したこ とにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても 富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

登録商標について

Microsoft、Windows、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。 VMware、はVMware,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。 その他の各製品は、各社の著作物です。 All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 2018

1. 製品概要

ISM Management Pack は、VMware vRealize Operations Manager (以降 vROps と表記) のユーザーインターフェースを拡張し、vROps 上で FUJITSU Software Infrastructure Manager (以降 ISM と表記)の各種機能を提供するためのプラグインソフトウェアです。 本製品を導入することにより、vROps から ISM を直接利用できます。

2. パッケージ内容

本製品を展開すると、下記5つのファイルに解凍されます。

- InfrastructureManagerAdapterMP.pak
- \cdot Readme.txt
- \cdot Readme_en.txt
- 本書
- 本書(英語版)

3. 動作環境

必須ソフトウェア

- FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 以降 Infrastructure Manager Advanced Edition のみ動作可能
- VMware vRealize Operations Manager 6.3 以降

下記いずれかの Web ブラウザ

- Internet Explorer 11 以降
 「3D ビュー」画面を表示するためには、更新バージョン:11.0.15 以降が適用されている必要があります。
- Mozilla Firefox 38 以降
- Google Chrome 43 以降

ISM 利用時の詳細情報については、ISM のユーザーズマニュアルを参照してください。

4. ISM Management Pack のインストール

4. ISIVI IVIAIIAgement Pack の1 ノストール vROps に ISM Management Pack をインストールします。以下に、vROps へのインスト ール手順を説明します。

- 1 インストールの準備
- 2 インストールファイルを実行する
- 3 ISM Management Pack に情報を登録する
- 4 ISM Management Pack を利用する

4.1 インストールの準備

本製品の zip ファイルを展開し、InfrastructureManagerAdapterMP.pak をローカルに 保存してください。

4.2 インストールファイルを実行する

4.2.1 ブラウザを起動後、「https://<vROps の IP アドレス>/ui/」に接続し、vROps に管 理者としてログインします。

VMware™ vRealize Operations Manager®	
ローカルユーザー ~	
ユーザー名	
バスワード	
ログイン	

vm vRealize Operations Mar	nager ホーム	ダッシュボード	アラート	環境 管理	Q	СД	å
	ソリューション	ン					?
ソリューション	🛉 🥔 🛶 表示: _	すべてのソリューション	v <u> </u>				
ポリシー	名前 ↓	說明	パージョン	提供元	ライセンス	収集のステータス	
> アクセス	翌 オペレーティング	ミオペレーティング	1.0.6028692	VMware Inc.	該当なし	未構成	Â
> 構成	🕝 VMware vSphere	クラスタ、ホストな	6.0.6163027	VMware Inc.	該当なし	🥪 データ受信中 (5)	, ,
> 管理							
> 履歴	構成済みのアダプ	タインスタンス コ	レテンツ				
> サポート	002						
	アダプタ タイプ	アダプタ インスタンス名	認証情報名	コレクタ	収集状態	収集ステータス 🕹	
	m		く 該当するものが見	つかりませんでした		<i>∓−91</i> %80≭	776.
						データかありま	en

4.2.3 「ソリューションの追加」ダイアログが表示されます。「参照」ボタンをクリックします。PAK ファイルを選択して「開く」をクリックします。



4.2.4 「選択したファイルはアップロードとインストールの準備が整っています。「アップ ロードをクリックして操作を続行してください。」と表示されますので、「アップロ ード」ボタンをクリックします。

vm vRealiz	e Operations Manager 管理~	Q C.		
< Ro	ソリューションの追加	インストールするソリューションの選択 ? ×		
シリューショ ポリシー	1 ソリューションの選択	ファイル システムを参照して、インストールするソリューションの PAK ファイルを選択します。		
) アクセス	2 エンドユーザー使用許諾契約書	ServerViewInfrastructureManagerAdapterMP.pak		
> 種成	3 インストール	✓ 選択したファイルはアップロードとインストールの準備が整っています。[ア ップロード]をクリックして操作を続行してください。		
> 管理		 すでにインストールされている場合でも PAK ファイルをインストールします。 		
> 履歴) サポート		デフォルトの内容の再設定。このアップデートによって提供された新しいパ ージョンで上書きします。デフォルトのアラート定義、シンプトム、推奨事 項、ポリシー定義、ビュー、ダッシュボード、ウィジェット、レボートに対		
		するユーサーによる修正内智は上書きされます。製品ソフトウェア アップテ ートをインストールしようとしている場合は、内容のクローン作成またはバ ックアップを行ってから続行してください。	ルステータス	
		<mark>アップロード</mark> 0%		
		キャンセル 次へ		
			F-97/3053	eteki

4.2.5 「次へ」をクリックします。



4.2.6 インストール確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。



4.2.7 エンドユーザー使用許諾契約書が表示されます。「この契約書の条項に同意」をクリ ックしてチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

SH J	2011	バージョン	提供元	5400	
「関オペレーティング システム/リモートセ	ソリューションの追加	エンド ユーザー使用許諾券	四約書	? ×	
VMware vSphere		統行するには、エンドユーザー使	用許諾契約書の内容を読んで合意します。		
VMware vSAN	1 ソリューションの選択	マルプロバティム 並ん使けた トパ			
🖉 VMware vRealize Log Insight	2 エンドユーザー使用許諾契約書	このプログラムまたは、その一部を より発止されています。	画的RRAにようと体調されています。 無断で複製または配布することは、法律に		
WMware vRealize Business for Cloud		or state of the office			
VMware vRealize Automation					
□ <u> 建立済みのアダプタインスタンス</u> ○ ○ C P/794/1					
		この契約書の条項に同意			
				_	
			キャンセル 戻る	次へ	

4.2.8 インストールが開始されます。「インストールの詳細」に「(完了)」と表示されます。 「完了」をクリックし、終了します。



4.3 ISM Management Pack に情報を登録する

ISM Management Pack に vROps および ISM の各種情報を登録します。

 4.3.1 vROps にログインした後、「管理」タブをクリックすると下記画面が表示されます。
 左ペインから「ソリューション」を選択し、アダプタインスタンスの中から 「FUJITSU Software Infrastructure Manager」を選択します。選択したら、「構成」ボタンをクリックします。

〈 戻る ~	≪ ソリューショ	レ				
ソリューション	🕇 🥔 📥 表示:	すべてのソリューショ	=>	~		
ポリシー	名前 ↓	説明	バージョン	提供元	ライセンス	収集のステータス
アクセス	VMware vReali	z Management Pa	6.0.8183630	VMware inc.	該当ほし	木備成
構成	VMware vReali	z VMware Applica_	1.0.8183626	VMware Inc.	該当なし	未構成
管理	C FUJITSU Softw	a The objects of t	1.0.0	FUJITSU	該当なし	
履歷						
サポート	構成済みのアダ	ブタ インスタンス	コンテンツ			
	002					
	アダプタ タイプ	アダプタ インスタンス	8 認証情報名	コレクタ	収集状態	収集ステータス 🗸
	Infrastructure M	ism	ism	vRealize Operati	◎ 収集中	◎ データ受信中

4.3.2 「ソリューションの管理」ダイアログが開いたら、下記の項目を入力します。
表示名(必須): 任意の名前を入力(例:ISM Management Pack)
説明(任意): 説明文を入力
管理IP(必須): 管理対象ISMのIPアドレスを入力(例:192.168.100.10)
管理ポート(必須): 管理対象ISMのポート番号を入力(例:25566)

アダプタタイプ	10.01	インスタンス	パージョン	提供元	デフォルトの内容の再
Infrastructure Managerアダプタ	Managerアダプタ Infrastructure Managerアダプタ		1.0.0	FUJITSU	
+ x	インスタンス設定				
インスタンス名 🎍	表示名	表示名			
ism	28,49				
	誕生10字			di la	
	管理の				
	管理ポート			_	
	1212(9.46)			** */	
	接続をデスト				
	> 詳細設定				
					設定の保存

4.3.3 「インスタンス設定」の入力が完了したら、「認証情報」の右側にある「新規追加」 ボタンをクリックします。

アダプタ タイプ 个	説明		インスタンス	バージョン	提供元	デフォルトの内容の再
ServerViewInfrastructureManager	ServerViewInfrastructu	reManager	0	1.0.0	FUJITSU	
+ ×	インスタンス	設定				
インスタンス名 🕈	表示名	ISM Plug-In	for vROps			
ISM Plug-In for vROps	説明					
	基本設定				li	
	管理IP	192.168.100	0.10			
	管理ポート	25566				
	認証情報	ISM			× ~ 🕈 🥖	
	接続をテス	(F				
	> 詳細設定					
						設定の保存

4.3.4 「認証情報の管理」ダイアログが開いたら下記情報を入力し OK をクリックします。
認証情報名(必須): 任意の名前を入力(例:ISM)
Username(必須): 管理対象ISMのユーザー名を入力(例:administrator)
Password(必須): 管理対象ISMのパスワードを入力

vRealize Operations Manager Username(必須): vROpsのユーザー名を入力 vRealize Operations Manager Password(必須): vROpsのパスワードを入力

1944	Ĩ.				
認証情報の管理	Ē		?	×	
認証情報名	ism				
ISM Username	administr	ator			
ISM Password				+1	
vRealize Operations Manager Username	admin				
vRealize Operations Manager Password					
		at an N de		- 11	
		+1/20			

4.3.5 「接続のテスト」をクリックします。

アダプタ タイプ ↑	説明			インスタンス	バージョン	提供元	デフォルトの内容の再
ServerViewInfrastructureMana	ger ServerViewInfra	structur	eManager	0	1.0.0	FUJITSU	
+ ×	インス	、タンス語	定				
インスタンス名 个	表示	S	ISM Plug-In	for vROps			
ISM Plug-In for vROps	説明						
	基本目	合定					
	管理	5	192.168.100	.10			
	管理7	К— Þ	25566				
	azart	青柳辰	ISM			× ~ + /	
	33 > \$¥4	綾をテス 田設定	F				認定の保存

125		
情報		
モスト接续に成功しました		
7 XT 1200CM4910& 0720		
	ок	

4.3.6 「テスト接続に成功しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

4.3.7 「設定の保存」をクリックします。

アダプタ タイプ ↑	説明	インスタンス	バージョン	提供元	デフォルトの内容の
ServerViewInfrastructureMana	ger ServerViewInfrastruct	ureManager 0	1.0.0	FUJITSU	
+ ×	インスタンプ	【設定			
インスタンス名 个	表示名	ISM Plug-In for vROps			
ISM Plug-In for vROps	説明				
	基本設定				
	管理IP	10.21.102.200			
	管理ボート	25566			
	認証情報	ISM		× ~ 🕇 🖊	
	接続をデ	スト			
	> 詳細設定				
					設定の保存

4.3.8 「OK」をクリックします。

100 M		-	
情報			
アダプタ インスタンスが正	常に保存されました		
		ок	

4.3.9 「閉じる」をクリックして「ソリューションの管理」ダイアログを閉じます。

アダプタ タイプ ↑	説明	インスタン	バージョン	提供元	デフォルトの内容の調
ServerViewInfrastructureMana	ger ServerVlewInfrastruct	ureManager 0	1.0.0	FUJITSU	
+ ×	インスタン	く設定			
インスタンス名 ↑	表示名	ISM Plug-In for vROp	5		
ISM Plug-In for vROps	説明				
	基本設定	10 21 102 200			
	管理ボート	25566			
	認証情報	ISM		× ~ + /	
	撮影をデ > 詳細設定	24			
					設定の保存

4.4 ISM Management Pack を利用する

- 4.4.1 ダッシュボードでの情報確認
 - 1. vRealize Operations Manager を起動します。
 - 2. 「ダッシュボード」を選択し、左ペインから「Infrastructure Manager」をクリック します。

(戻る ~ 《	ServerView Ir	nfrastructure Mana	ger アクラ	ション・ すべての	ダッシュボー	K 🗸		
ネットワーク構成	Environment Over	rview		Object Relation	nship			
ホスト使用率	= 040.0 (E / E)				» h	イックフィー	4
白ムのカニフカの統計情報	テータセンター(5/5)						
セルフサービスのサマリ		A A A A A	1. I I I I I I I I I I I I I I I I I I I					
白公のパフォーマンスの詳細			•					
セルフサービスの通信								
Conter アダブタの詳細	6=7.0 -> U-							
ヤルフトラブルシューティング	05X9 JJE1-	-ディング リゾース (171)						
クラフタ体田家								
Operations 御専								
キャパシティ解毒								
面利用可能な主ヤパシティ								
vSphere ハードニング コンプラ イアンス	ホストシステム	(8 / 8)						
ホスト使用率の概要								
データストア使用率の概要								
ホストのトラブルシューティン グ	仮想マシン (34/	34)						
vSAN Operations の概要								
vSAN キャパシティの概要			2					
vSAN デプロイの最適化								
vSAN のトラブルシューティン グ		000000		Metric Chart				
ServerView Infrastructure								

- 3. 「Environment Overview」ウィジェット内にある「ホストシステム」に表示された任意のオブジェクトをクリックすると、「Object Relationship」ウィジェットに構成図
 - が、「Metric Chart」にグラフが表示されます。

<u>₹</u> 6	ServerView Intrastructure Manager 7/2	ション 🗸 すべてのタッシュボード 🗸
ダッシュボード	Environment Overview	Object Relationship ន 🖉 ? 💩
システムの健全性		
vRealize Automation 上位 N ダ ッシュポード	データセンター (5/5)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
vRealize Automation 環境の概 要		III.
ログを使用したトラブルシュー ティング		Datacenter
VM のトラブルシューティング	クラスタ コンピューティング リソース (1/1)	
はじめに	_	
仮想マシン構成		
ヘビー ヒッター仮想マシン	_	10.21.102.63
データストア使用率		
データストアのトラブルシュー ティング	ホストシステム (8/8)	
クラスタのトラブルシューティ ング		ISM210_203 .63 ISM200_202
クラスタ構成		
ホスト構成		
ネットワーク構成	仮想マシン (34/34)	ISM210_201 ISM200_200
仮想マシン使用率		
ホスト使用率		
自分のクラスタの統計情報		
セルフ サービスのサマリ		Metric Chart
自分のパフォーマンスの詳細		metric chart
セルフ サービスの通信		10.21.102.63
vCenter アダプタの詳細	SequerView Infractoreture Manager Adapter Instance (1)	バッジアノマリ
セルフ トラブルシューティング	Serverview innastractore manager Adapter Instance (17	·高:83

4. 「Object Relationship」ウィジェット内に表示された任意のホストシステムをクリックし、「詳細」をクリックすると当該ホストの詳細画面に遷移します。

EA W #	ServerView Infractructure Manager 75	sas totadusat k				
(M.S	Serverview initiastructure Manager 792					
ダッシュボード	Environment Overview	Object Relationship				
システムの健全性						
vRealize Automation 上位 N ダ ッシュボード	データセンター (5/5)	マノ「ツジ」 10.21.102.63 、 クノークフィルタ (名				
vRealize Automation 環境の概 要		タイプ:ホストシステム 健全性 25				
ログを使用したトラブルシュー ティング		アラート 詳細				
VM のトラブルシューティング	クラスタ コンピューティング リソース (1/1)					
はじめに	_					
仮想マシン構成						
ヘビー ヒッター仮想マシン	_	10.21.102.63				
データストア使用率						
データストアのトラブルシュー ティング	ホストシステム (8/8)					
クラスタのトラブルシューティ ング		ISM210_203 .63 ISM200_202				
クラスタ構成						
ホスト構成						
ネットワーク構成	仮想マシン (34/34)	ISM210_201 ISM200_200				
仮想マシン使用率						
ホスト使用率						
自分のクラスタの統計情報						
セルフ サービスのサマリ		Metric Chart				
自分のパフォーマンスの詳細		Provine Grant				
セルフ サービスの通信		10.21.102.63				
vCenter アダプタの詳細	ServerView Infrastructure Manager Adapter Instance (1)	バッジアノマリ				
セルフ トラブルシューティング	(1)	◎篇:83				
to many to the second s		02				

4.4.2 ISM Management Pack を利用したトラブルシューティング

ISM Management Pack をインストールした vROps 環境では障害が発生した物理ホスト を簡単に特定し ISM で状態確認ができます。ここでは物理ホストに障害が発生して、ISM で状態確認するまでの作業例を紹介します。

- 1. vRealize Operations Manager を起動します。
- 2. 「ダッシュボード」を選択し、左ペインから「Infrastructure Manager」をクリック します。

21.00.1.1.189.000	Server view initiastractare Manager	/_/*			
ネットワーク構成	Environment Overview	Object Relationship			
10.20マンノ(2円傘) ホスト使用率 自分のクラスタの統計情報 セルフ サービスのサマリ 自分のパフォーマンスの詳細	F−9t2>9- (5/5)	🗗 - ১১৯৯ 🔲 🖗	. »	クイックコ	フィルタ
セルフ サービスの通信 vCenter アダプタの詳細 セルフ トラブルシューティング クラスタ使用率	クラスタ コンピューティング リソース (1/1)				
キャパシティ 概要					
再利用可能なキャパシティ vSphere ハードニング コンプラ イアンス	ホストシステム (8/8)				
ホスト使用率の概要					
データストア使用率の概要					
ホストのトラブルシューティン グ	仮想マシン (34/34)				
vSAN Operations の概要					
vSAN キャパシティの概要					
vSAN デプロイの最適化					
vSAN のトラブルシューティン グ		Metric Chart			
ServerView Infrastructure					

エラーが発生したオブジェクトをクリックします。「Object Relationship」ウィジェットに構成図が、「Metric Chart」にグラフが表示されます。

vm vRealize Operations Ma	nager ホーム ダッ	ッシュボード アラート	環境 管理	ž	Q C	; Ţ
(戻る ~ 《	ServerView Infrastru	icture Manager アクシ	ヨン・ すべてのら	ダッシュボード 🗸		
ダッシュポード HPE OneView Infrastructure HPE OneView Networking HPE OneView Servers Overview	ホストシステム (11/11)			BX92	0 \$3#5	
HPE OneView Enclosures Overview	仮想マシン (50 / 50)					
HPE OneView Uplink Ports Overview	282822	00000000				
はじめに		2 2 2 2 2 2 2 2				
ServerView Infrastructure Manager	202002	2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 3	Metric Chart			
ビュー レポート	? ? ?	? ? ?		BX9205 バッジIア	53#5 ノマリ	≡~
	ServerView Infrastructure Ma	inager Adapter Instance (1 / 1)	◎商:0			
		オブジェクト:	RX30058#01		-	
		オブジェクト タイプ:	SERVER		1	20:00
	SERVER (15 / 15)	健全性:	■ 良好	• 100		20:00
			🚭 不明			_
		アノマリ:	▲ 良好		PZZ	= ~
		障害:	■ 不明			
		リスク:	BR04			
		現り時間	 个明 不明 			. 100
		(残り十アハンテイ)	• 不明			
		カトレス:	第二日本2		-	
		Again.	THORA,			20.00
		節約可能だキャパシティー	C 7.88			20.00

4. 「Object Relationship」ウィジェット内に表示された構成図の中から障害が発生したホ ストを選択すると上部にポップアップが表示されます。ポップアップに「詳細」とい うリンクがあるのでクリックします。

ダッシュボード	Environment Overview	Object Relationship					
HPE OneView Infrastructure HPE OneView Networking	データセンター (5/5)	RX30058#01					
HPE OneView Servers Overview		タイプ: SERVER					
HPE OneView Enclosures Overview		▲ 健全性 100 ▲ アラート 詳細					
HPE OneView Uplink Ports Overview	クラスタ コンピューティング リソース (1/1)						
はじめに	_						
ServerView Infrastructure Manager	-						
Ez-							
レポート	ホスト システム (11 / 11)						
	00000000000	RX30058#01					
	仮想マシン (50 / 50)						
	仮想マシン (50 / 50)						
	依照マシン (50/50)						
		Metric Chart					
		Metric Chart RX30058#01 バッジボアノマリ					
	使理マシン (50/50)	Metric Chart RX30058#01 バップマリンマリ ●着:0					
	使理マシン (50/50)	Metric Chart					

5. 「詳細」をクリックすると当該ホストの環境画面に遷移します。「アクション」ボタン を選択して、「Infrastructure Manager で開く」をクリックします。



6. ISM が新規ウィンドウで開き、障害が発生したホストのノード画面へ自動的に遷移し ます。

ServerVi	iew Infrastru	cture Manag	jer	🌲 8 🔞 1 🚱	6 9270	?	へルプ ❤ adm	inistrator 🗸 🛛 FUJIT
9 99227	⊼ − ド	構築	~ 管理	✓ イベント	> │ 設定	• I		この新
- ドリスト	> RX300S8#0	01				12	終更新: 2018/04/1	8 15:46:09 アクション 〜
プロバラ	部品	OS	仮想マシン ファーム	ウェア 監視	プロファイル ログ	設定		
	ステータス	₽5-635- ⊉ Info	・タス パワーステータス ① オフ	イベント 運用ログ 12	監査ログ SNMP 1 0	トラップ アラーム設定 0	実行中タスク 0	/-ドログ 0
基本情報								
ノード名		RX30058#01	RX30058#01		モデル		0 58	
ベンターキ	В		FUJITSU		シリアル番号		MANT001036	
更新日			2018/04/18		IPアドレス		10.21.102.20 / IPv4	
Web i/f	URL		http://10.21.102.2	0/				
説明								
97								
名前					URL			
サブURLカ	ぶありません。							
音載ラック	情報							
=	- d-		Kawasaki Wast.3		עחר		25	

5. ISM の利用方法

ISM の操作方法については、ISM のユーザーズマニュアルを参照してください。

6. アンインストールの手順

アンインストールは下記の手順で行います。

vROpsのバージョンが 6.5 以前の場合

VMware 社の下記ページを参照して削除を実行してください。

VMware vRealize Operations Manager 6.x からのソリューションの削除 (2146721) https://kb.vmware.com/s/article/2146721

vROps のバージョンが 6.6 以降の場合

下記手順を実行してください。

- 1. vRealize Operations Manager を起動します。
- 2.「管理」タブをクリックすると下記画面が表示されます。左ペインから「ソリューション」を選択し、アダプタインスタンスの中から「FUJITSU Software Infrastructure Manager」を選択します。選択したら、「ソリューションのアンインストール」ボタン をクリックします。

vRealize Operations	Manager ホーム ダッシュボード アラート 《 ソリューション	▶ 環境 管	理 Q	C À 2
ソリューション	+ @ ▲ 表示: すべてのソリューション ~			
ボリシー	名前 ↓ ソリューションのアンインストール >	提供元	ライセンス	収集のステータス
アクセス	₩ VMware vRealize vSphere オブジェ 6.0.6162772	VMware Inc.	該当なし	未構成
電成	■ VMware vRealize テナントや予約な 3.0.6162694	VMware Inc.	該当なし	未構成
會理	FUJITSU Softwar The objects of th 1.0.5	FUJITSU	該当なし	
歴				
-7-77	構成済みのアダプタインスタンス コンテンツ ○ ○ 2			
	アダプタタイプ アダプタインスタンス名 認証情報名	コレクタ	収集状態	収集ステータス ↓
	ServerViewInfrast ISM Plug-In for vR ISM	vRealize Operati	io 👝 収集中	 データ受信中
				1~1/1項

3. 「警告」ダイアログが表示されますので、「リスクを理解して同意します」にチェック して「OK」をクリックします。



4. ISM Management Pack が削除されます。

7. 留意事項

- 7.1 ISM Management Pack を使用するためには、ISM のご購入およびインストールが必須となります。ISM の詳細については、ISM の製品マニュアルを参照してください。 ISM がインストールされていない場合、動作いたしませんのであらかじめご了承ください。
- 7.2 ISM Management Pack を使用するためには、vROps をあらかじめインストールの上、 接続可能なことが必須となります。vROps の操作方法については、VMware の製品マ ニュアルを参照してください。

8. 最新情報

ISM Management Pack に関する最新情報については、次の Web ページを参照してください。

http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastruc